

第41期

事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、有り難く厚く御礼申し上げます。
ここに、当社第41期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

世界中の花嫁に「トータル・ブライダル・ソリューション」を提供する

当社グループは、国内外の挙式・衣裳・美容・写真・旅行・その他ブライダルに関わるあらゆるサービスを融合させ、ご提案する「トータル・ブライダル・ソリューション」という新しい業態の確立に全社を挙げて取り組んでおります。

時代の移り変わりとともに、多様化、個性化するお客さまのニーズにしっかりとお応えし、お客さまのすべての不安や課題の解決に努め、さらに「すてきさ」という付加価値をつけ、お客さまの「心」を大切にすることがサービスの原点であると考えております。

このような考えのもとに、透明性の高い事業活動を行い、社会に貢献するよう全社一丸となって努めてまいりますので、株主の皆さまにおかれましては、引き続き変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

代表取締役社長 **渡部 隆夫**

目次

□ ごあいさつ	1
□ 経営基本理念	2
□ <特集>ワタベウエディングの中国展開	3
□ ワタベグループ企業集団	7
□ 事業紹介	8
□ トピックス	9
□ 営業報告	11
□ 財務諸表の概要（連結）	13
□ 財務諸表の概要（単体）	15
□ 国内ネットワーク	16
□ 株式情報	17
□ 株主ご優待のお知らせ	17

会社概要（平成17年3月31日現在）

ワタベウエディング株式会社
□ 本店所在地 京都市下京区烏丸通仏光寺上る 二帖半敷町671番地
□ 設立 昭和39年10月3日
□ 資本金 40億9,901万2,800円
□ 従業員数 （単体） 404名 （連結） 1,353名 ※契約社員は含まれておりません
□ 支社 ハワイ・オーストラリア

ワタベウエディングは、 「世界最高のブライダル企業を目指します」

経営基本理念

わたくしたちの目的は、
真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、
すてきな生活文化を創造し、
心豊かな社会の実現に
貢献することにある。



■ 中国初の挙式・総合サービス店舗「薇薔(ウイズ)花園店」の展開

経済のグローバル化が進む中、特に中国は高度経済成長を維持し続けており、今や国際経済での中心的存在となっています。外交における一時的な緊張は一部懸念されるものの、中長期的には一大ブライダルマーケットとしての成長が展望されるため、先駆けての取り組みは当社グループの認知度を高めるために必然であると考えています。

当社グループは1993年に中国(上海)進出をして以来、日本マーケット向け生産拠点であるドレス工場、貿易会社、アルバム工場、また中国マーケット向け写真館という4つの事業を柱に、着実に事業展開を進めてきました。



「薇薔(ウイズ)花園店」外観



打ち合わせ風景



ヘアメイク風景



「花園飯店」



「アイリスの間」での挙式風景



スタジオでの写真撮影風景

元来中国には宗教による「挙式」という概念はなく、結婚記念写真を撮り豪華なアルバムを作ることが一般的でした。

しかし、近年、上海の急激な経済発展を背景に個人消費額が上昇、人々の高級志向が進むにつれ、外国映画の影響もあり、フォーマルかつ高級なホテルでの挙式ニーズが生まれるなど、上海市民やカップルの婚礼に対する思い、披露宴に対する考え方の転換期に差し掛かっています。

こうした中、当社は上海の最高級5つ星ホテル「花園飯店(オークラガーデンホテル上海)」と婚礼運営に関する業務提携を行い、2004年11月8日、同ホテル内に中国の婚礼文化に新しい挙式スタイルを提案する総合ブライダルショップ「薇薔(ウイズ)花園店」をオープンさせました。同店は、3階ワンフロアに、衣裳・美容・写真スタジオを完備。2階には新しいコンセプトの人前挙式場「アイリスの間」を開設し、同ホテルの中心顧客である最高級客層を中心に、ハイクオリティな上海ウェディングをご提供しています。

■ 中国(上海)ブライダルビジネスにおけるワタベブランドの確立

「薇薔(ウイズ)花園店」ではその他にも、上海の象徴的存在であるテレビ塔・東方明珠の敷地内にある貴賓室でのウェディングをご提案。衣裳もレンタルだけでなく、ウェディングドレスやタキシードの販売も行っています。また、日本人向けにも、以前よりご好評をいただいている芸術写真(チャイナドレスなどの華やかな衣裳をまとった記念写真)に続き、上海ウェディングのご提案をスタートしました。

現在も発展を続け、世界の注目を浴びる上海は、お客様の個性化・多様化するご要望を叶える場所としてモダンな魅力を発揮しています。

当社グループは、益々拡大する上海のブライダルマーケットを背景に婚礼展示会にも積極的に出展し、多くのお客様にその存在が知られていますが、特にISO9001認証工場にて製造されるウェディングドレスはその品質の高さが世界に通用するレベルであり、女性の間では高級ウェディングドレスの代名詞になっているといっても過言ではありません。また過去12年に亘る生産工場稼働の実績は、ブライダルビジネスにおける製販一貫モデルとして上海における事業展開の優位性を確保しています。

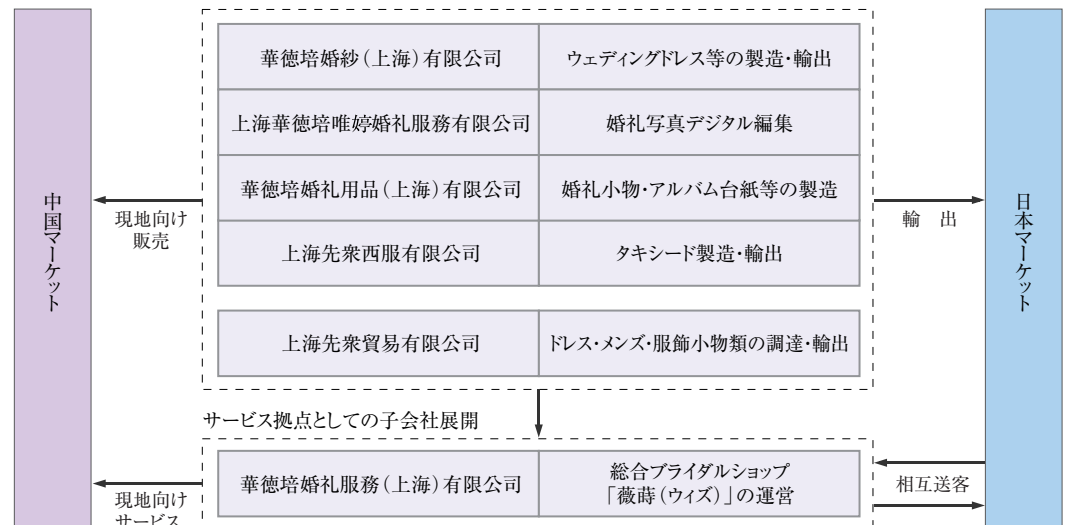


テレビ塔・東方明珠の貴賓室



貴賓室での挙式風景

【中国事業の展開】 生産拠点としての子会社展開

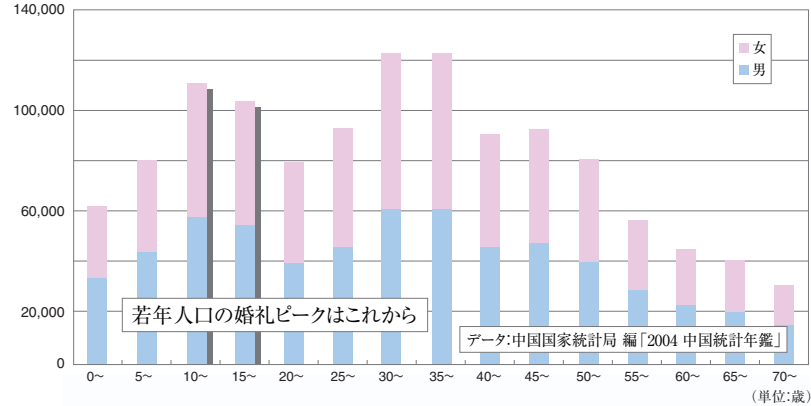


■ 中国マーケットでの将来像

2004年から2005年にかけては、日本をはじめ世界各国でロイヤルウェディングが行われ、絢爛豪華な結婚式を世界に強く印象づける年となり、マーケットには明るい兆しが見えているものの、日本ではまもなく結婚適齢人口の減少時代を迎えるなど、競争激化の様相を呈しています。

このような中、当社グループは日本や海外挙式で培ったノウハウを活かし、年間10.8万組（2003年）と東京都の婚姻組数を上回る上海市の巨大マーケットにおいて、トータルなサービスと高級路線展開で同業他社との差別化を図ります。

（単位：人）【2003年度中国の年齢別人口分布（※）】



【解説】

中国都市部ではブライダルマーケットは成長ステージにあり、今後も富裕層をターゲットにニーズを創造します。

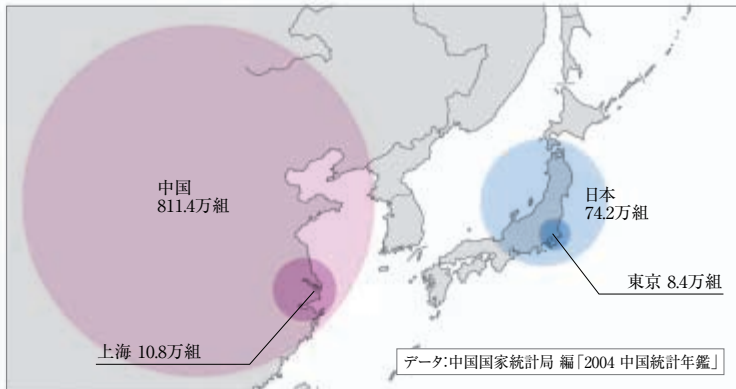
（※）は中国国家統計局のルールに従い、2003年の総人口から0.9%を無作為に抽出したサンプルデータです。



【解説】

中国の婚姻組数は日本の10倍以上で、経済成長とともに一組当たりの婚礼費用も急増しています。

【2003年度日本と中国の婚姻届出組数】



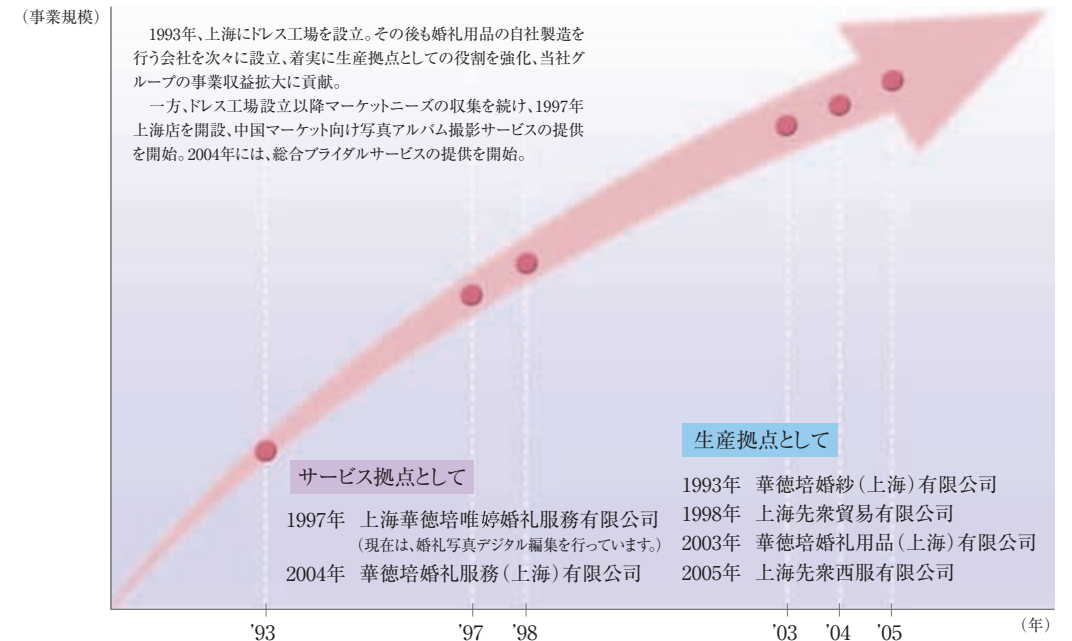
今後、総合挙式プロデュース（ホテル挙式・ハウスウェディング挙式・レストラン挙式など様々な挙式スタイルの提案）の展開や、中国人の海外旅行ブームの高まりの中、ハワイ挙式や、日本でのリゾートウェディング商品の販売を積極的に取り組むことにより、中国ブライダルマーケットにおいて本格的な事業の拡大を行ってまいります。

■ 中国ビジネスの視点から見る当社のグループ戦略

ドレス、タキシード、アルバムの生産など婚礼を軸とした生産品種の増加は、当社の収益構造の変化をもたらしました。豊富な品揃えと高品質な製品の短納期生産の実現は、販売現場のモチベーションを高め、お客様の満足度を高める効果をもたらしています。

特にアルバム商品の全世界統一展開は、販売数量・収益の拡大をもたらし、当社グループの事業収益にも大きく貢献しています。今後はお客様へのすてきな結婚式のご提案に商品提案力の向上を加え、更なるトータル・ブライダル・ソリューションの推進に注力してまいります。

【中国マーケットでの軌跡】



■ 当社のグループ戦略

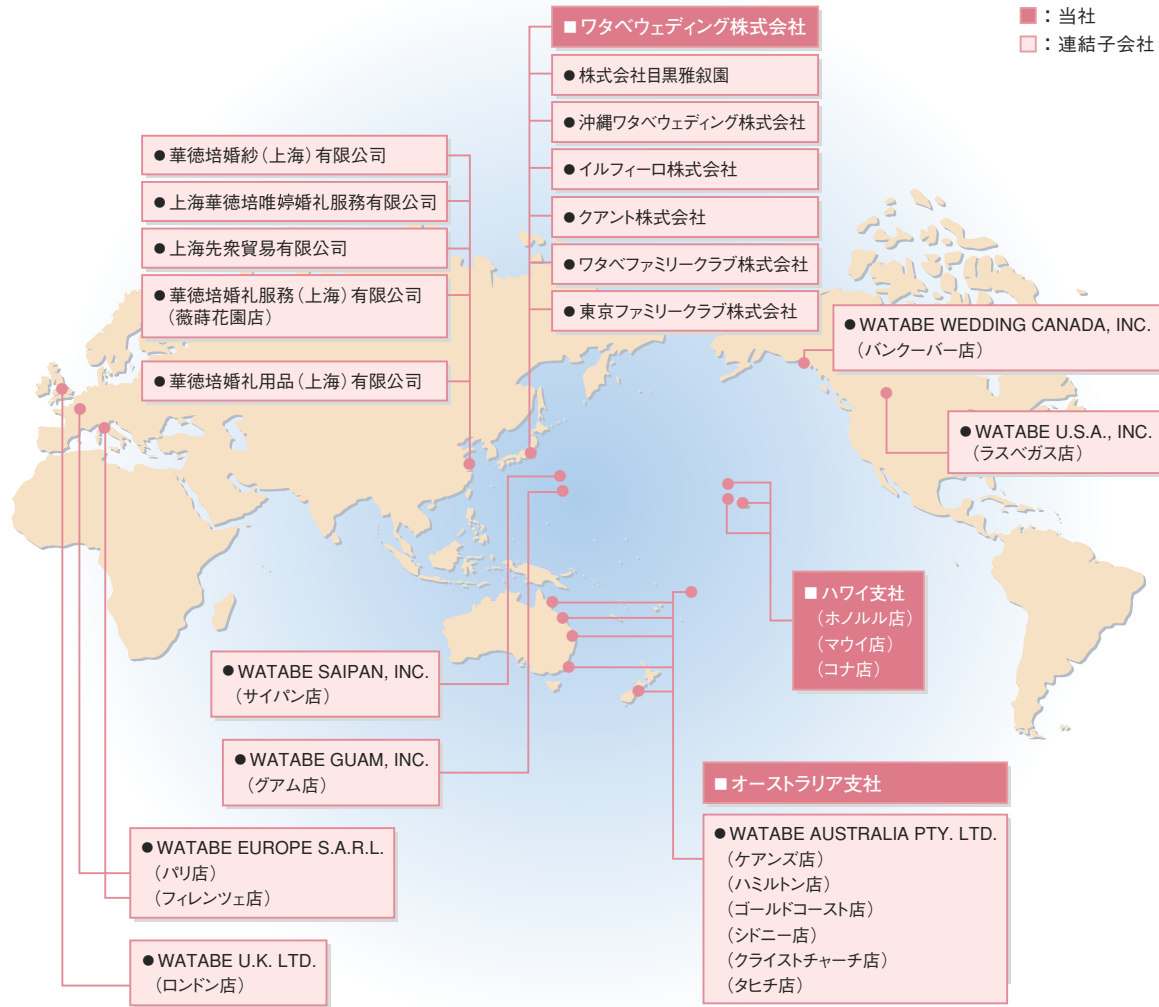
日本国内において、リゾートウェディング（沖縄・北海道・軽井沢・京都などへの旅行を伴う結婚式）という新しい挙式スタイルの提案を行い、シェア拡大を図ってまいりました。一方、グループ内事業で取り扱う商品の内部調達を進め、付加価値の高い製品を安価に提供するための製販一貫体制の強化を図り、コストの低減に努めております。

当社グループは、主に日本人を対象とした挙式サービスを中心に事業を展開してきましたが、今後は世界各地において海外現地マーケット向けサービスの充実を図ることにより、「新しいマーケットの開拓」を進めるとともに、「新しいサービス・商品の創造」を進め、お客様のニーズに応じてまいります。

ワタベグループ企業集団

(平成17年3月31日現在)

当社グループは、当社(海外2支社)および連結子会社20社(国内7社、海外13社)で構成され、国内および海外挙式サービスを中心にブライダルに関する情報・サービス・商品をトータルにご提供することを主たる事業としております。



※国内子会社の株式会社アルケは休業中であり、イタリア海外子会社は清算手続中のため上図には記載していません。

事業紹介 -すてきな生活文化を提案するワタベワールド-

海外挙式サービス



国内52店舗、海外17店舗のグローバルネットワークで海外13ヵ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。「日本人を海外へ」から「海外の人が地元で」、「海外の人を日本へ」と対象を拡大中。

国内挙式サービス

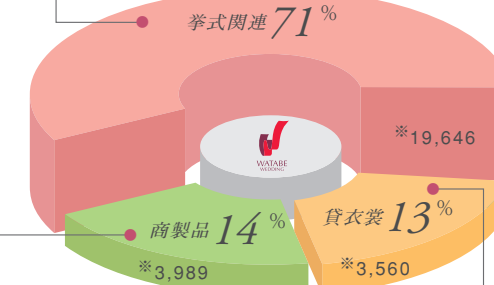


挙式スタイルの新提案としてのリゾート、都市型ウェディングに対応するため日本全国をマーケットとしてとらえ、沖縄から北海道まで国内16ヵ所の自社運営挙式施設を中心にサービスを提供。

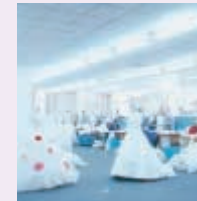
その他



国内店舗で挙式者、列席者の旅行(国内、海外)を販売、手配。引出物やブライダル関連商品の販売や他社施設への顧客紹介(送客)を実施。



商製品



ドレスは「借りる」から「購入する」スタイルの提案。上海工場(「ISO9001」認証取得)製造の高品質・高付加価値ウェディングドレスを中心に、タキシード、アクセサリー等を店舗にて販売。ウェディングドレスはOEM供給も行う。

衣裳レンタル



和装中心の婚礼衣裳や列席者用衣裳を低価格でレンタル。打掛、留袖はカタログで予約できるサービスも実施。国内店舗で海外着用のウェディングドレスを試着、予約できるサービスも好評。

写真サービス



挙式日前後の婚礼写真撮影や、成人式、卒業式、七五三などの記念写真撮影を貸衣裳、美容・着付けとセットにしたオリジナルフォトサービスを提供。

■ 古都・京都に和風モダンのレストラン&パーティー会場「桜鶴苑」オープン

当社グループは、近年多様化するお客様のニーズに対応するため、主力の海外挙式事業に加えて、国内のリゾート観光地を中心に、自社運営の挙式関連施設を充実させることによる国内挙式事業の強化を図っています。

平成17年3月に京都にて四季折々の風景と本格的な京懐石が楽しめるレストラン&パーティー会場「桜鶴苑」をオープンしました。さらに、歴史的に有名な神社仏閣での挙式と、自社施設「桜鶴苑」・「カーニバルタイムズ」のレセプションを組み合わせることにより、トータルに和の挙式をご提案できる「都絵巻」を商品化しました。今後は、当社の全国ネットワークを活かし、国内リゾートウェディングの地として潜在需要の活性化を図ることで、京都の婚礼及び観光産業への貢献に努めます。



■ 「和」の回帰、和の婚礼需要の増加

「目黒雅叙園」では、近年神前式の人気が高く披露宴パーティーでもカラードレスの代わりに色打掛を選ぶなど、現代風な新しい和装、和の婚礼需要が高まりを見せています。当社グループでは既に、結婚式の列席者衣裳に対応するため「留袖カタログ」を発刊、通販方式による衣裳レンタルサービスを展開し、本年度約5,000着の利用実績を上げるなど好評をいただいています。さらに

平成16年10月には日本で初めてとなる「和装打掛カタログ」を発刊し、3月末までに約500着のお申し込みをいただきました。これは、当社所蔵の特選婚礼花嫁衣裳約130柄の豊富な品揃えからお選びいただく通販方式での新しいレンタルシステムで、和装の魅力を引き出すとともに「もっと簡単に、楽しく、リーズナブルに」といったニーズにお応えしています。



■ 至上の楽園・バリ島に進出

地上最後の楽園と称されるインドネシア・バリ島は、優雅にヴァカンスを過ごしたいハネムーンに人気のリゾート地です。2005年4月、海外挙式の新たな拠点として「バリ店」がオープンしました。チャペル挙式に加え、ガムラン音楽やバリ舞踊などの演出が魅力のバリ式挙式などを提案します。バリ島ならではの雰囲気味わえる挙式プランが加わったことで、海外挙式の選択肢が広がりました。直営店舗だからこそできるきめ細かいサービスで、日本人カップルに一層ご満足いただけるウェディングを提供します。



(バリイメージ)

■ ケアンズに初の自社挙式会場

日本との時差がほとんどなく、冬でも15℃前後の温暖な気候や大自然が魅力のケアンズは、年間推定日本人挙式組数が1,000組を超えるオセアニア地区において挙式需要が特に好調なエリアです。このようなケアンズにおいて当社グループは、地元カップルにも人気の高い「バリアリーフ・チャーチ」の運営権を獲得しました。今後は、自社直営会場としての強みを活かした提案で新たなウェディングマーケットの創造を目指します。



■ 「カームサイド奈良」オープン

奈良県初の本格的挙式施設として、平成16年11月、JR奈良駅前に「カームサイド奈良」を開設しました。光や風を組み込んだモダンな空間造りが特徴で、関西圏のお客様を中心にオリジナリティの高いハウスウェディングをご提供しています。また、平成17年3月には奈良店も隣接地に移転リニューアルオープン。奈良近郊のお客様のご要望にお応えしています。



■ 目黒雅叙園『創業77周年』

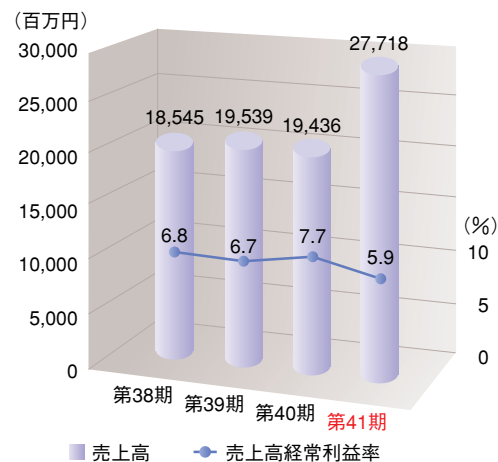
目黒雅叙園では、創業77周年を記念し、婚礼、宴会、レストラン、宿泊、全館イベントの展開などさまざまなプランを取り揃え皆様をお待ちしています。

創業以来受け継ぐ“おもてなしの心”と“和の伝統”を融合させ、今後も皆様に愛され、支えられながら、皆様と共に歩み続けるとともに、当社グループの総合挙式施設の旗艦店として、新しい挙式生活文化の提案を行うことによりグループの発展に大きく寄与しています。

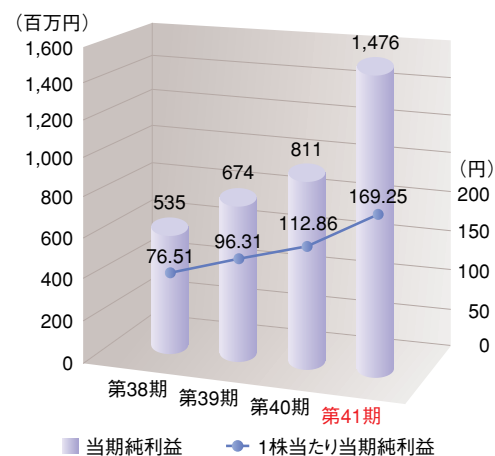


「漁樵の間」

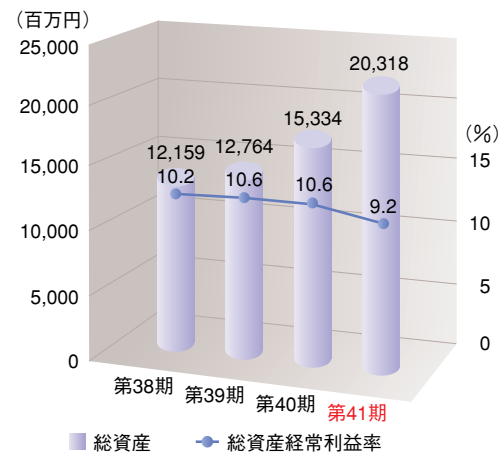
売上高/売上高経常利益率



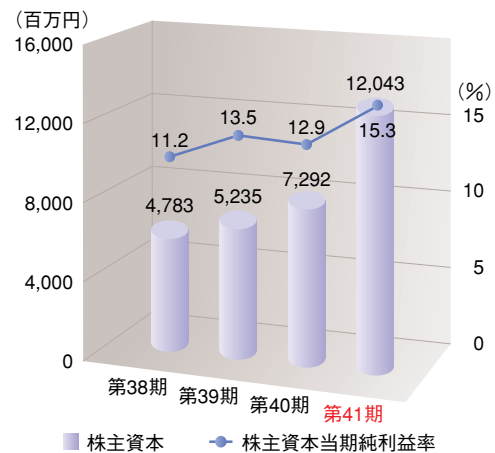
当期純利益/1株当たり当期純利益



総資産/総資産経常利益率



株主資本/株主資本当期純利益率



当期のわが国経済は、企業業績の改善による設備投資や輸出の増加により、緩やかながらも順調に回復に向かいましたが、個人消費動向は一部には明るさが見えるものの、依然として前年を下回りデフレ脱却には未だ少々時間を要するものと思われます。

当ブライダル業界においては、団塊の世代ジュニア以降の出生率低下に伴う結婚適齢人口の減少等により、平成16年の婚姻届出件数は72万5千組（前年73万7千組）となりました。

国内マーケットにおいては、「貸切型」の挙式スタイルが都市部で人気となりましたが、地方都市まで十分に浸透するに至らず、お客様のニーズに対応するため新しい挙式スタイルの提案が求められ、過当競争の時代を迎えています。

このような経営環境のなか、当社グループは、「お客様満足度の向上」をさらに進め「感動の最大化」にまで高めるべく、全国をマーケットとして捉える挙式施設の展開と、心のこもったホスピタリティを实践する社員教育に注力し、トータル・ブライダル・ソリューションの確立に努めてまいりました。

国内挙式戦略としては、海外挙式サービスで培ってきました「リゾートウェディング」のノウハウを国内においても提案すべく挙式施設の開設を進めました。

平成16年4月、沖縄県恩納村の万座ビーチホテル&リゾートに「アクアルーチェ・チャペル」を開堂、同年6月、北海道函館市に赤レンガ造りの「ステラマリス・チャーチ」を備えた挙式施設「アフィーテ函館」を開設しました。同年7月には、京都市上京区のレストラン「カーニバルタイムズ」の営業権を譲受し、運営を始めました。同年10月、神奈川県小田原市のヒルトン小田原リゾート&スパに「クリスタル グレイス チャペル」を開堂、同年11月、奈良県奈良市に営業店舗併設の挙式施設「カムサイド奈良」を開設しました。平成17年3月には、

京都市左京区に和風モダンをテーマとしたレストラン&パーティー会場「桜鶴苑」を開設しました。また、平成16年5月、総合結婚式場「目黒雅叙園」の経営権異動を伴う株式取得を行い、一カ所で総合的なブライダルサービスを提供することができる一大ソリューションプレイスとして、新しい挙式生活文化の提案を進めております。

海外挙式戦略としては、平成16年9月、南太平洋の楽園タヒチに出店し、環太平洋エリアでの選択肢拡大に努めました。同年10月、オーストラリア・ケアンズの「バリアリーフ・チャーチ」を取得（改修後、平成17年4月開業）しました。同年11月、中国上海市の花園飯店（オークラガーデンホテル上海）内に、衣裳・美容・写真スタジオと人前挙式場を備えた総合ブライダルショップ「薇蒔（ウイズ）花園店」を開設し、上海市民に対し中国の伝統と日本の挙式を融合させた、新しい結婚式の提案をしております。あわせて、日本からの海外挙式にも対応し、スタイリッシュな「上海ウェディング」の提供を開始しました。

店舗展開戦略としては、地方未出店エリアへの総合ブライダルショップ展開の一環として、平成16年4月、石川県金沢市に「金沢店」、同年11月、静岡県静岡市に「静岡店」を開設しました。

コスト低減戦略としては、海外拠点において撮影された写真のアルバム製作を、前期に開設しました中国上海市の写真アルバム製造工場にて行うことを本格的に進めました。

以上の結果、当社グループの当期業績は売上高27,718百万円（前期比42.6%増）、経常利益1,644百万円（同10.1%増）、当期純利益1,476百万円（同82.1%増）となりました。

財務諸表の概要(連結)

連結貸借対照表(単位:千円)

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	7,794,485	5,110,597
1 現金及び預金	5,534,574	3,307,554
売掛金	804,830	728,061
たな卸資産	661,037	487,564
前払費用	402,554	289,280
未収入金	98,432	163,703
繰延税金資産	144,820	118,459
その他	181,710	30,774
貸倒引当金	△ 33,476	△ 14,801
固定資産	12,524,422	10,224,253
有形固定資産	8,146,762	6,551,987
貸衣裳	261,335	130,870
2 建物及び構築物	4,578,349	3,432,397
2 器具備品	1,222,700	833,959
土地	1,763,932	1,763,932
その他	320,444	390,827
無形固定資産	225,622	157,721
投資その他の資産	4,152,037	3,514,544
投資有価証券	621,743	929,491
長期前払費用	259,618	324,343
差入保証金	2,532,259	1,739,804
繰延税金資産	220,104	33,464
再評価に係る繰延税金資産	364,431	364,431
その他	402,539	379,655
貸倒引当金	△ 248,659	△ 256,646
資産合計	20,318,907	15,334,851

point 1

公募、第三者割当及び新株予約権行使による1,793千株の新株式発行を行い、資本金が1,835百万円、資本準備金が1,833百万円増加しました。また、これに伴い現預金が2,227百万円増加しました。

point 2

挙式施設や営業店舗の取得・新設・改装等で建物、備品は1,534百万円増加しました。カムサイド奈良450百万円、桜鶴苑256百万円、アヴィカ・スパ(オーストラリア)183百万円等が主な増加です。

point 3

単元未満株の買取請求があったため、自己株式97株を保有しました。

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	6,115,330	4,936,998
買掛金	1,240,342	931,594
短期借入金	174,879	196,402
1年以内返済予定長期借入金	1,345,600	799,600
未払金	840,116	531,705
前受金	1,849,492	1,548,904
賞与引当金	250,847	174,702
その他	414,052	754,088
固定負債	2,159,652	3,105,449
長期借入金	1,240,000	2,496,400
退職給付引当金	164,482	45,259
役員退職慰労引当金	325,673	308,096
連結調整勘定	161,530	-
その他	267,966	255,694
負債合計	8,274,983	8,042,447
(資本の部)		
1 資本金	4,099,012	2,263,500
1 資本剰余金	3,960,812	2,127,000
利益剰余金	4,327,698	3,059,757
土地再評価差額金	△ 524,424	△ 524,424
その他有価証券評価差額金	279,915	457,010
為替換算調整勘定	△ 98,833	△ 90,440
3 自己株式	△ 257	-
資本合計	12,043,924	7,292,403
負債及び資本合計	20,318,907	15,334,851

連結損益計算書(単位:千円)

科目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
4 売上高	27,718,376	19,436,413
4 売上原価	10,218,987	7,661,152
売上総利益	17,499,389	11,775,261
5 販売費及び一般管理費	15,876,655	9,994,856
営業利益	1,622,733	1,780,404
営業外収益	85,302	81,965
営業外費用	63,750	368,527
経常利益	1,644,284	1,493,843
特別利益	455,669	49,616
特別損失	119,547	54,696
税金等調整前当期純利益	1,980,406	1,488,763
6 法人税、住民税及び事業税	476,915	702,077
法人税等調整額	△ 64,802	△ 24,315
当期純利益	1,476,577	811,001

point 4

目黒雅叙園の子会社化により売上高、売上原価ともに大幅に増加しました。海外挙式は横ばいでしたが、挙式施設の開設を進め国内挙式が増加しました。

point 5

目黒雅叙園の子会社化による純増と、新設の挙式施設に係る開業準備費用が増加しました。

point 6

繰越欠損金のあった子会社を吸収合併したことにより、当社の法人税等が減少しました。

連結剰余金計算書(単位:千円)

科目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	2,127,000	1,618,000
資本剰余金増加高	1,833,812	509,000
増資による新株の発行	1,762,900	509,000
新株予約権の行使による新株の発行	70,912	-
資本剰余金期末残高	3,960,812	2,127,000
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	3,059,757	2,388,755
利益剰余金増加高	1,476,577	811,001
当期純利益	1,476,577	811,001
利益剰余金減少高	208,635	140,000
配当金	208,635	140,000
利益剰余金期末残高	4,327,698	3,059,757

連結キャッシュ・フロー計算書(単位:千円)

科目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,844,004	1,460,103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,649,049	△ 2,130,685
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,733,142	1,349,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,922	△ 46,345
現金及び現金同等物の増加額	1,935,019	632,128
現金及び現金同等物の期首残高	3,307,554	2,675,425
現金及び現金同等物の期末残高	5,242,574	3,307,554

財務諸表の概要（単体）

貸借対照表（単位：千円）

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
（資産の部）		
流動資産	5,354,799	3,991,962
現金及び預金	3,667,461	2,507,076
売掛金	650,923	627,024
たな卸資産	222,225	136,477
その他	822,207	734,908
貸倒引当金	△ 8,018	△ 13,524
固定資産	12,428,733	10,315,967
有形固定資産	6,831,829	5,736,623
貸衣裳	212,286	103,729
建物及び構築物	4,035,332	3,082,190
器具備品	697,084	555,898
土地	1,763,932	1,730,367
その他	123,194	264,437
無形固定資産	166,665	121,529
投資その他の資産	5,430,237	4,457,814
投資有価証券	618,602	1,579,194
差入保証金	2,212,808	1,444,214
その他	3,048,103	2,299,820
貸倒引当金	△ 449,276	△ 865,415
資産合計	17,783,532	14,307,930

損益計算書（単位：千円）

科目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	前期 (平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
売上高	17,890,143	15,304,110
売上原価	8,773,059	7,524,320
売上総利益	9,117,084	7,779,789
販売費及び一般管理費	8,662,117	6,602,775
営業利益	454,966	1,177,013
営業外収益	264,629	291,128
営業外費用	48,007	328,315
経常利益	671,588	1,139,826
特別利益	442,515	49,019
特別損失	177,304	388,298
税引前当期純利益	936,799	800,548
法人税、住民税及び事業税	174,420	440,318
法人税等調整額	189,644	△ 177,621
当期純利益	572,733	537,850
前期繰越利益	460,768	407,678
中間配当額	88,635	70,000
当期末処分利益	944,866	875,529

科目	当期 (平成17年3月31日現在)	前期 (平成16年3月31日現在)
（負債の部）		
流動負債	4,986,139	4,142,135
買掛金	1,216,712	955,484
1年以内返済予定長期借入金	1,345,600	799,600
前受金	1,649,246	1,421,054
その他	774,580	965,995
固定負債	1,758,383	2,982,896
長期借入金	1,240,000	2,496,400
退職給付引当金	62,203	43,151
その他	456,179	443,345
負債合計	6,744,523	7,125,031
（資本の部）		
資本金	4,099,012	2,263,500
資本剰余金	3,960,812	2,127,000
利益剰余金	3,224,026	2,859,928
土地再評価差額金	△ 524,424	△ 524,424
其他有価証券評価差額金	279,839	456,893
自己株式	△ 257	-
資本合計	11,039,009	7,182,898
負債及び資本合計	17,783,532	14,307,930

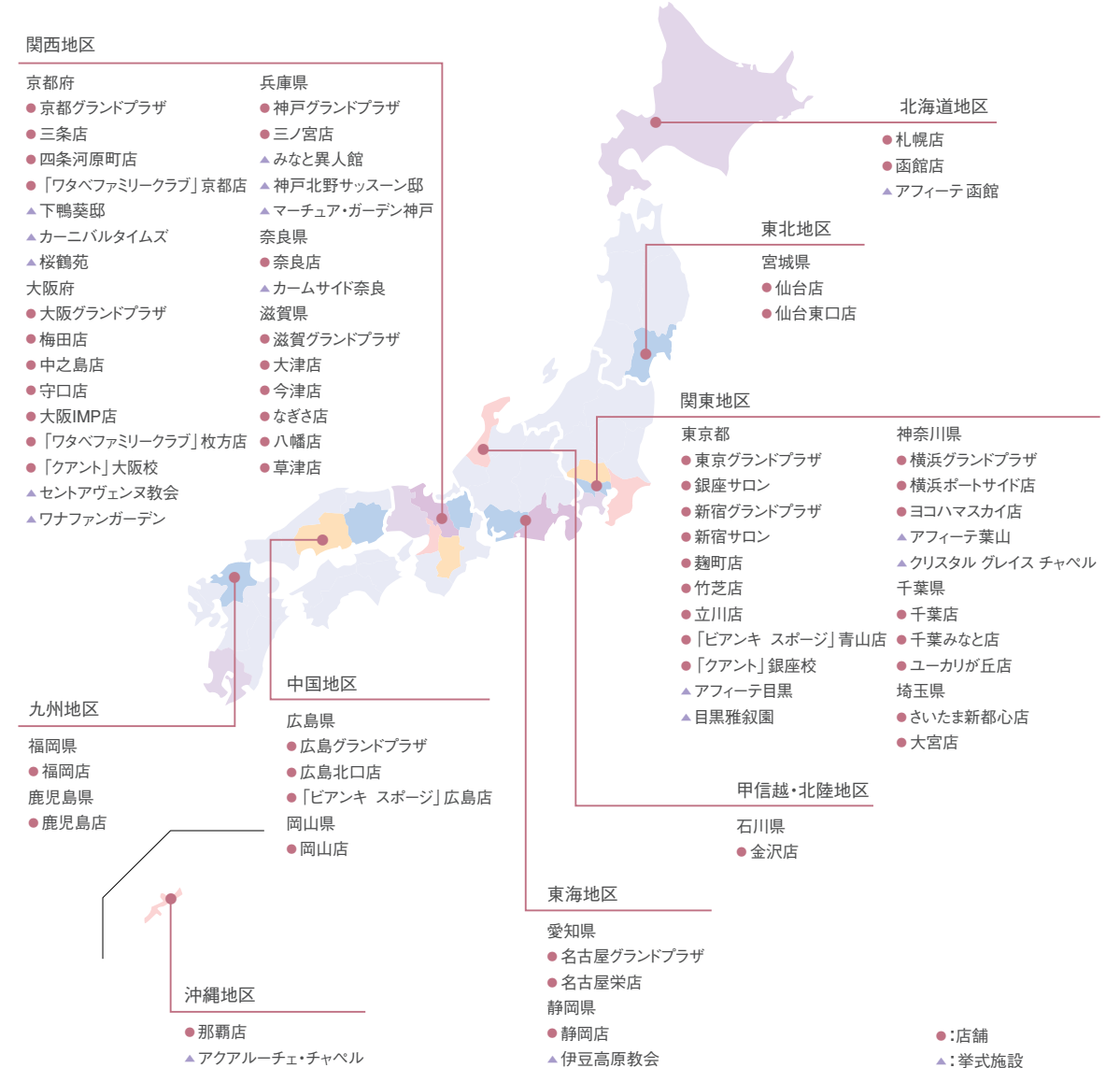
point

当社グループの経営資源の集中と効率化を図るため、平成17年1月1日付で、国内挙式施設運営子会社であるアヴィカプロデュース株式会社を吸収合併いたしました。

受入資産 428百万円 受入負債 311百万円
合併による資本金の増加はありません。

国内ネットワーク

(平成17年3月31日現在)



株式情報

(平成17年3月31日現在)

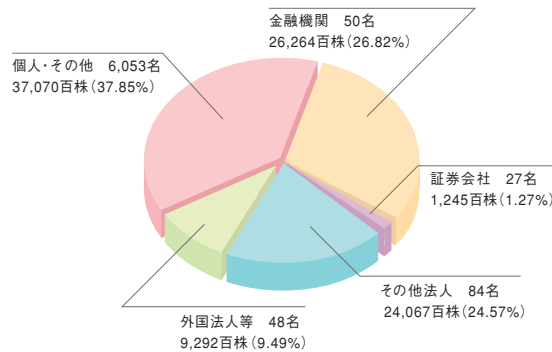
株主の状況

1. 会社が発行する株式の総数	22,000,000株
2. 発行済株式の総数	9,793,800株
3. 株主数	6,262名
4. 大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社寿泉	2,005,400	20.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	804,200	8.21
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	485,700	4.95
渡部 隆夫	290,200	2.96
ワタベウェディング従業員持株会	269,300	2.74
野村信託銀行株式会社	238,700	2.43
日本証券金融株式会社	205,100	2.09
有限会社シュー	200,000	2.04
渡部 泰男	183,000	1.86
渡部 義夫	178,300	1.82

(注) 上記信託銀行の持株数は、すべて信託業務に係るものであります。

〈所有者別分布状況〉



株主ご優待のお知らせ

当社では、株主様への感謝の一環といたしまして、当社の商品・サービスをご利用いただけるご優待制度を設けております。

株主ご優待

- 対象株主様
平成17年3月31日現在の株主名簿に記載された株主様
- ご優待内容
 - ・ 海外・国内直営挙式会場割引ご優待
 - ・ 当社オリジナルドレス(アヴィカ)とタキシード(オモ)ペアでご購入割引ご優待
 - ・ 海外・国内パッケージ旅行の割引ご優待
 - ・ 直営リゾート施設(海外)の無料宿泊ご優待
 - ・ 貸衣裳ご利用割引ご優待
 - ・ 当社フォトプラン「花嫁物語」割引ご優待
 - ・ 目黒雅叙園宿泊ご優待(※)
- ご利用期間
平成17年7月1日から平成18年6月30日まで
(注) ※は平成17年7月1日から平成18年3月31日までのご宿泊について有効
除外期間 平成17年12月31日から平成18年1月2日

(詳しいご優待内容につきましては同封しておりますご優待券をご確認ください。)

株主優待CLOSE-UP

当社グループの目黒雅叙園は創業77周年を迎えることができました。これを記念しまして、平成17年3月31日現在の株主様を限定とした「目黒雅叙園宿泊ご優待プラン」をご用意いたしましたのでその概要をご案内いたします。

株主様限定

『目黒雅叙園 スイートルーム 1室2名様』ご宿泊ご優待

料 金 ￥28,000(正規料金 ￥69,300)
※表示価格に、消費税・宿泊税・サービス料を含んでいます。

期 間 平成17年7月1日～平成18年3月31日ご宿泊分有効
(除外期間 平成17年12月31日～平成18年1月2日)

特 典

- 2名様朝食無料
朝食の追加は1名様2,310円(税込)でご利用いただけます。
- ご飲食代金より10%OFF
・ 日本料理 「渡風亭」
・ 東京チャイニーズ 「旬遊紀」
・ Club Lounge
- 昭和の保存建築「百段階段」を無料にてご案内(通常一般非公開)

※ ご宿泊追加は1名様より5,775円(税込)でご利用いただけます。
※ ご予約時に「ワタベウェディング株主優待券」をご利用の旨を、必ずお伝えください。
※ その他、詳しいご優待内容につきましては同封しておりますご優待券をご確認ください。

目黒雅叙園の百段階段

平成17年1月31日をもって当社の100%子会社となった目黒雅叙園は、もう二度と同じものが作られることはないであろう贅を尽くした建造物が魅力の、伝統と格式を備えた日本を代表する結婚式場です。その中で、今回ご案内する百段階段は、国の登録有形文化財(保存建築)に指定されており、通常は一般公開をしていない絢爛豪華な美しい保存建築です。是非この機会にご覧ください。



客室イメージ



正面入口

※ 洋室/和室ともご利用いただけます。
(予約状況によりご指定いただけない場合があります。)



一本ご優待に関するお問い合わせ・ご予約窓口ー

目黒雅叙園

東京都目黒区下目黒1-8-1
(フロント直通) TEL:03-5434-3837

〈事業報告書・株主ご優待の内容に関するお問い合わせ先〉

ワタベウェディング株式会社 TEL 075-352-4111(代)
株式課 FAX 075-352-4114

株主メモ

決算期	毎年3月31日(年1回)
定時株主総会	毎年6月中
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

○株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行のフリーダイヤル
およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)
0120-684-479 (大阪支店証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>



ワタベウェディング株式会社

本社 〒600-8540 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地
TEL (075) 352-4111 (代) FAX (075) 352-4139 (代)

<http://www.watabe-wedding.co.jp>